



自主防災会を対象にした可搬式動力ポンプ取扱い訓練 ～能登半島地震を教訓に取り組み強化～

平時における火災をはじめ、大規模災害時に町内会・自治会が自らの組織力で有効な消火活動ができるよう、町内会などに編成される自主防災会を対象に、市内34箇所に分散配置してある可搬式動力ポンプを使用し、取扱い訓練や放水訓練を行います。

■日時

令和7年（2025年）6月7日（土）、6月8日（日）の2日間

午前10時～11時

■場所

東海市消防本部 駐車場（東海市高横須賀町町新田1番地の1）

■参加者

コミュニティ推進地区連絡協議会及び市内全町内会などのうち希望者

■内容

能登半島地震で発生した火災で多数の建物が被害を受けました。被害が拡大した原因のひとつとして、地震により水道管が破損し断水が発生したため、消火栓が使えなかったことが考えられます。今回は断水しても利用できる防火水槽から、市民も使用することができる可搬式動力ポンプで放水をする訓練を行います。

■中止決定

雨天決行としますが、気象警報等発令時の場合、中止決定は午前8時に行い、中止の場合は市公式ホームページに掲載します。

■写真等



可搬式動力ポンプ取扱い訓練の様子

問合せ

消防署警防課
担当：岩田（いわた）
0562-36-0471